

## 令和2年度宇治茶アカデミー第3回講座

宇治茶アカデミーは京都府内で茶の生産、流通・販売や加工商品の製造・販売等を行っている若い担い手を対象に、経営力、宇治茶の伝統や価値の発信力を高めるとともに、参加者同士の交流・連携を深め、宇治茶のイノベーションにつなげるための取組で、今年度は初めてWeb オンラインにより開催しています。

1月21日に開催した第3回は「輸出」をテーマに講習を行いました。40名の参加があり、「コロナ禍においても日本産緑茶の輸出は伸びており、日本産緑茶の主な輸出先は米国、台湾、ドイツであり、他国産の緑茶よりも高単価で取引されている。」や「輸出先によって日本茶に求められるものが異なる。例えばEUでは残留農薬基準や有機栽培がキーワードとなる。」などの報告があり、参加者からは「日本茶インストラクターとして、海外での商談に関わりたい。」等の積極的な声がありました。



日本茶のプロモーションについて説明

